

第6回東アジア競技大会 ソフトテニス競技

1. 大会期日 2013年10月10日(木)～14日(月)
2. 開催地 中華人民共和国 天津市
3. 日程・種別 10日(木)・11日(金) シングルス
12日(土) ミックスダブルス
13日(日) ダブルス
14日(月) 国別対抗戦



第6回東アジア競技大会 ソフトテニス競技 日本代表選手団(候補)

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
団長	神崎 公宏	三重高校			
監督	斉藤 広宣	松戸市役所	監督	田中 弘	田中企画
コーチ	中堀 成生	NTT西日本広島	コーチ	高川 経生	ヨネックス
トレーナー	川上 晃司	スポーツインテリジェンス	トレーナー	吉川友巳奈	ゆらく接骨院
男子選手	篠原 秀典	日体桜友会	女子選手	杉本 瞳	東芝姫路
男子選手	小林 幸司	ミズノ	女子選手	森原 可奈	東芝姫路
男子選手	長江 光一	NTT西日本広島	女子選手	宮下 愛未	東芝姫路
男子選手	増田 健人	和歌山県庁	女子選手	小林 奈央	早稲田大学
男子選手	柴田 章平	同志社クラブ	女子選手	横山 温香	ナガセケンコー



第68回 天皇賜杯・皇后賜杯 全日本ソフトテニス選手権大会

平成25年10月25日(金)～27日(日) 会場：茨城県神栖市海浜運動公園神栖海浜庭球場
(放映予定日時) NHK Eテレ 平成25年11月4日((月)振替休日) 15:00～16:00

平成24年度事業報告(平成24年4月1日～25年3月31日)

平成24年度の事業遂行にあたっては、平成24年4月1日に公益認定を受けた公益財団法人として、高い社会的信用を維持し、公益目的事業を行うことを目的として、次の諸事業を実施した。

I ソフトテニスの普及振興事業

1. ソフトテニス競技規則等の制定事業
国際普及や施設基準を考慮してテニスコートの規格の改訂について審判委員会において検討を始めた。
2. 全日本ソフトテニス選手権大会等開催
(1)国内競技会を大会実施要項に基づき実施した。
(2)大会の検討と大会運営の改善を図った。
3. 地域ソフトテニス大会支援
9地区選手権大会、9地区高等学校選抜大会、10地区中学校選手権大会、壮年東西対抗大会、超壮年東西対抗大会、全日本学生同好会大会の開催に対して補助を行った。
4. 加盟団体が行うソフトテニスの競技力向上と普及振興支援
(1)地域グループ育成のため、次の事業を実施した。
①地域クラブ、ジュニアクラブ等の育成の充実を図ることを目的として、各支部に対し、会員登録料から次の率により助成した。(一般20%、高校生10%、高専10%、中学生20%、小学生50%)
②支部に対し中学生大会、レディース大会、ソフトテニス週間への補助を行った。
③ソフトテニス愛好者増加対策を実施した。
④指導者バンク(地域)の活用を促進した。
⑤総合型地域スポーツクラブの研究を行った。
⑥傷害補償制度の活用推進を図った。
5. ソフトテニスの広報活動
(1)メディア対策
平成13年から継続している全日本選手権大会(鹿児島市)のNHKテレビ放送を12回連続実施した。
(2)ホームページ等の運営
①日本連盟ホームページ及びブライタホームページの充実と積極的活用を行った。
②日本連盟テレビ局及び各支部テレビ局の映像を通して、積極的な動画配信の広報活動を展開した。
③平成24年度から新たにユーストリームを活用し、アジアソフトテニス選手権大会等のライブ中継を全国に発信した。
④過去の日本連盟主催大会の映像が、いつでも見られるように動画ライブラリーを新設し、効果的広報活動を展開した。
(3)広報誌発行
①機関誌「ソフトテニス」の毎月発行(支部購読1,383名 個人購読327名)
②会員報を年2回発行した。③平成24年大会記録集を作成し、支部・報道機関等へ配布した
6. ソフトテニスの表彰、顕彰
各種表彰を実施した。特に平成24年度はジュニア指導者の特別表彰として426名を表彰した。
7. ソフトテニスの技術等級・指導員資格認定に関する事業
技術等級の認定は平成24年度合計6,527名であった。
8. 審判員の認定は平成24年度合計66,267名であった。
1級審判員の検定会を2回(92名)、研修会を8回(220名)実施した。
9. ソフトテニス用具・用品、施設の公認
公認メーカー、施設業者の更新手続きを承認した。(ラケット証紙431,977枚、ネット証布は3,100枚)

II ソフトテニスの競技力向上事業

1. ソフトテニスの競技力向上、医科学研究調査
(1)競技力向上
1)競技者育成プログラムの推進
一貫指導システムの構築を図り、競技者育成プログラムをStep1からStep5の過程を経て実施することにより、競技力を向上させた。
2)ナショナルチーム及び日本代表チームの強化合宿
①ナショナルチーム及び日本代表チームは男女とも年6回の合宿を実施した。
②全日本U-14、U-17、U-20は男女とも年2回の強化合宿を

実施した。

3)競技力向上のための海外遠征

- ①第11回チャイニーズカップ(中国・台州市)
- ②第20回日・韓・中ジュニア交流競技会(韓国・光州広域市)
- ③第7回アジアソフトテニス選手権大会(中華台北・嘉義市)
- ④第10回中山杯国際ソフトテニス大会(中華台北・台中市)
- ⑤第9回ハンガリー国際大会(ハンガリー・ブダペスト市)
- ⑥ワタキューカップ国際大会(イタリア・ローマ市)

4)強化スタッフを各種大会に視察派遣した。

(2)医科学研究調査

- ①医科学スタッフによるサポートおよびトレーナーズメントの設営を実施した。
- ②各種フィットネステストデータを分析し、競技力向上に役立てた。
- ③医科学研究結果を機関誌、ホームページにより報告し、指導現場に役立てた。

(3)アンチドーピング

- ①アンチ・ドーピングに関する教育・啓発活動を実施した。
- ②国内大会におけるドーピング検査を実施した。

2. ソフトテニスの指導者育成

(1)指導者養成

- ①指導員養成講習会を11都道府県の会場や東京スポーツ・レクリエーション専門学校に於いて実施した。上級指導員養成講習会を宮城県に於いて実施した。
- ②全国小学生・中学生・高校生の指導者の合同研修会を大阪で実施した。

III ソフトテニスの国際振興事業

1. ソフトテニスの国際振興

(1)国際普及活動の推進

- 1)普及対象国への指導者、選手の派遣及び普及対象の選手、指導者の日本での研修受入れを図った。
①ドイツジュニア選手及び役員を北海道滝川市において受け入れた。
②ヨーロッパ(ポーランド・ドイツ・イタリア)への普及活動としてワタキューセイモアの協力を得て指導者、選手を派遣した。
③パラグアイ・イグアス日本人会より指導者派遣の要請があり、指導者を派遣した。

2)用具・用品の提供・流通の促進を図った。(ボール275打、ラケット680本)

3)国際普及親善活動に結び付く支部の活動に対して国際親善大会補助を行った。

(2)国際大会の開催推進

- ①専務理事と国際委員がハンガリー国際大会へ参加するとともに、2015年世界選手権大会開催候補地のハンガリー会場視察を行った。
- ②専務理事と国際委員長が2014年韓国の仁川で開催されることとなった第17回アジア競技大会の打合せの為韓国を訪問した。
- ③専務理事と国際委員長が第2回世界ジュニア選手権大会開催候補地としての会場視察の為インドを訪問した。

[各事業を推進するための組織と財政の強化]

公益財団法人になったことにより組織体制の整備を行う必要との観点から組織体制の整備、及び、平成24年度は役員の変更の年なので役員の変更を行った。

「環境・教育プロジェクト委員会」や「アンチ・ドーピング委員会」の新設や「等級制度部会」を「指導委員会」より「競技委員会」に移すなど、組織体制の整備を図った。

[庶務事項]

- 定時評議員会は書面審議を含め4回実施した。
- 理事会は9回開催した。
- 専門委員会等諸会議は55回開催した。
- 会員登録制度に関する事項
平成24年会員登録数は450,997名と昨年度と同様な推移である。
- 維持会費のご協力を頂いた。
- (公財)日本オリンピック委員会及び日本スポーツ振興センターから補助金、助成金の交付を受けた。
- 各種団体から寄付金・協賛金を受けた。

スポーツ祭東京2013

第68回東京国体開催日程

- 少年男子 10月4日(金)世田谷・駒沢、10月5日(土)世田谷
- 少年女子 10月4日(金)世田谷、10月5日(土)世田谷
- 成年男子 10月6日(日)世田谷、10月7日(月)世田谷
- 成年女子 10月6日(日)世田谷、10月7日(月)世田谷

国民体育大会の監督の参加資格について(注意)

平成24年度以降監督は、(公財)日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ソフトテニス指導員、公認ソフトテニス上級指導員、公認ソフトテニスコーチ、公認ソフトテニス上級コーチのいずれかの資格が必要です。

会員登録料に関する使途概要(平成24年4月1日～25年3月31日)

会員登録料の使途は主として

- 1 競技力の向上「競技者育成プログラム」
- 2 競技性の向上
- 3 国際性の向上
- 4 大衆化の促進
- 5 広報活動の強化

等々の事業拡充のために用いられていますが、その他として、学連・高体連への還元、会員の傷害補償金および制度運営のための事務費にも充てられています。

具体的な金額は一般会計や特別会計のなかで従来からの支出科目に組込まれているため、かならずしも明確な仕訳になっていませんが、登録料を原資にした補充額は平成24年度は概ね次のとおりでした。

(競技力の向上 58,383千円)

- ・選手強化費 27,481千円
(ナショナルチーム、全日本アンダーチーム合宿、国際大会派遣)
- ・競技者育成プログラム推進費 28,664千円
(ステップ1～4、支部強化推進)
- ・医科学研究費、指導要領等作成費 2,238千円

(競技性の向上 27,723千円)

- ・大会開催地・地域大会への補助、大会表彰 14,480千円
- ・全日本小学生大会・全国小学生大会・都道府県中学生大会 13,243千円

(国際性の向上 14,386千円)

- ・国際大会派遣費 2,607千円
- ・国際大会振興補助費 5,179千円
- ・国際普及用用具用品購入費 1,981千円
- ・国際普及指導費 4,619千円

(大衆化の促進 67,364千円)

- ・地域グループ育成費 11,597千円
(各支部へ一般登録料の20%還元)
- ・ジュニア育成費 37,180千円
(各支部を通じて小・中・高・高専登録料の還元)
- ・愛好者増加対策 3,106千円
- ・ソフトテニス週間、支部レディース大会、支部中学生大会 8,330千円
- ・審判、指導者育成費 7,151千円
(審判検定・研修会、小・中・高生指導者研修会)

(広報活動の強化 25,171千円)

- ・テレビ放映関係費 5,752千円
(NHK全日本選手権大会の番組製作費)
- ・インターネット関係費 9,510千円
(ホームページ管理、システム構築)
- ・大会記録集作成費 1,342千円
- ・会員報作成費 4,880千円
- ・機関誌関係費 2,145千円
- ・その他広報活動費 1,542千円

(傷害補償給付金等 1,447千円)

- ・傷害補償給付金等 1,447千円

(その他 60,040千円)

- ・学連への還元 2,084千円
- ・高体連への還元 4,386千円
- ・中体連への還元 450千円
- ・会員登録事務費 27,191千円
- ・事務所取得費 25,929千円

合 計 254,514千円

収支計算書総括表(平成24年4月1日～25年3月31日)

科 目	一般会計	助成事業 特別会計	国際特別会計	傷害補償制度 特別会計	内部取引消去	合計
I 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
(1)基本財産運用収入	1,058,903	0	0	0	0	1,058,903
(2)会費収入	295,233,500	0	0	0	0	295,233,500
1.支部分担金収入	7,500,000					7,500,000
2.会員登録料収入	254,513,500					254,513,500
3.維持会費収入	33,220,000					33,220,000
(3)事業収入	155,101,592	4,490,000	0	0	0	159,591,592
1.大会参加料収入	23,717,000	4,490,000				28,207,000
2.出版物収入	19,809,820					19,809,820
3.用具検定費収入	27,930,651					27,930,651
4.公認審判収入	66,394,593					66,394,593
5.技術等級認定料収入	5,626,468					5,626,468
6.機関誌関係費収入	11,623,060					11,623,060
(4)補助金等収入	0	87,192,960	0	0	0	87,192,960
(5)協賛金寄付金収入	7,400,000	15,900,000	3,000,000	0	0	26,300,000
(6)雑収入	2,097,756	1,536,399	33,543	0	0	3,667,698
(7)他会計からの繰入金収入	0	76,340,596	17,300,000	1,446,660	△ 95,087,256	0
(8)国際大会積立金取崩収入	0	3,500,000				3,500,000
事業活動収入計	460,891,751	185,459,955	23,833,543	1,446,660	△ 95,087,256	576,544,633
2. 事業活動支出						
(1)事業費支出	186,739,243	185,459,955	20,428,953	1,416,000	0	394,044,151
1.指導要領等作成費	0					0
2.審判検定会・研修会費	1,413,888					1,413,888
3.地域グループ育成費	60,213,402					60,213,402
4.大会開催地関係費	47,028,040					47,028,040
5.地域大会補助費	4,300,000					4,300,000
6.大会役員関係費	3,486,400					3,486,400
7.その他大会関係費	2,732,600					2,732,600
8.公認審判関係費	21,138,660					21,138,660
9.技術等級関係費	426,855					426,855
10.用具施設証作成費	1,345,461					1,345,461
11.広報活動費	31,041,429					31,041,429
12.表彰費	13,612,508					13,612,508
13.東日本大震災復興支援費	0					0
14.競技力向上費		157,716,861				157,716,861
15.指導者育成事業費		5,736,688				5,736,688
16.大会開催等関係費		18,175,116				18,175,116
17.日本スポーツ・フラスター参加支援費		3,831,290				3,831,290
18.会議費			347,200			347,200
19.視察費			0			0
20.親善大会費			900,840			900,840
21.普及指導費			7,619,287			7,619,287
22.普及指導教材費			149,940			149,940
23.用具費			1,980,915			1,980,915
24.大会振興補助費			4,278,000			4,278,000
25.活動促進費			2,545,498			2,545,498
26.国際大会派遣費			2,607,273			2,607,273
27.傷害補償金				1,416,000		1,416,000
28.免税手数料						0
(2)管理費支出	121,832,850	0	0	30,660	0	121,863,510
(3)加盟費支出	865,945	0	0	0	0	865,945
(4)国際大会積立金支出	0	0	12,000,000	0	0	12,000,000
(6)他会計への繰入金支出	95,087,256	0	0	0	△ 95,087,256	0
事業活動支出計	404,525,294	185,459,955	32,428,953	1,446,660	△ 95,087,256	528,773,606
事業活動収支差額	56,366,457	0	△ 8,595,410	0	0	47,771,047
II 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入						
(1)資産取得資金積立金取崩収入	150,000,000	0	0	0	△ 150,000,000	0
投資活動収入計	150,000,000	0	0	0	△ 150,000,000	0
2. 投資活動支出						
(1)職員退職積立金支出	1,503,438	0	0	0	△ 1,503,438	0
(2)資産取得資金積立金支出	70,000,000	0			△ 70,000,000	0
(3)資産取得費支出	153,405,982				0	153,405,982
投資活動支出計	224,909,420	0	0	0	△ 71,503,438	153,405,982
投資活動収支差額	△ 74,909,420	0	0	0	△ 78,496,562	△ 153,405,982
III 予備費支出	0	0	0	0	0	0
当期収支差額	△ 18,542,963	0	△ 8,595,410	0	△ 78,496,562	△ 105,634,935
収支調整額	225,877	0	0	0	78,496,562	78,722,439
前期繰越収支差額	72,238,783	0	9,613,516	0	0	81,852,299
次期繰越収支差額	53,921,697	0	1,018,106	0	0	54,939,803

平成24年度会員傷害補償制度事故実績

本連盟独自の傷害制度の24年度給付状況と主な傷害内容は次のとおりです。

事故件数 45件 支払給付金 1,416,000円

(単位：件)

傷害の内容	一般	大学生	高 専	高校生	中学生	小学生	計
アキレス腱断裂	7			1			8
骨 折	10				1	2	13
靭 帯 損 傷	7			1			8
肉 離 れ	5						5
そ の 他	7				2	2	11
計	36			2	3	4	45

充分なウォーミングアップで事故を防止し、ソフトテニスを楽しんでください。万一傷害に合われた場合は、本連盟にお問合わせください。

なお、補償内容・給付金請求の手続きについては日本ソフトテニス連盟ホームページの「傷害補償制度」に記載されております。

会員登録者の実績

(数値：人数)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
平成24年度	8,751	49,279	17,174	284,478	82,510	1,005	7,800	450,997
平成23年度	7,771	50,221	17,298	284,886	81,730	918	8,076	450,900
平成22年度	6,885	51,525	18,083	285,617	83,555	950	8,492	455,107
平成21年度	5,482	51,214	17,986	291,640	85,841	846	8,499	461,508
平成20年度	3,291	51,436	17,408	279,203	87,243	810	8,288	447,679
平成19年度	0	54,239	17,415	269,939	91,165	385	7,543	440,686
平成18年度	0	53,787	17,742	240,872	93,199	373	7,567	413,540

(注) 20年度より指導者区分を設置。

平成24年度 会員登録数

No	支部名	指導者		一般		小学生		中学生		高校生		高専		大学生		合計	
		会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数
1	北海道	223	184	2,396	34	539	277	8,113	153	3,225	3	93	0	12	651	14,601	
2	青森	178	54	561	9	170	99	3,785	41	835	0	0	2	37	205	5,566	
3	岩手	316	60	1,138	29	446	141	4,276	71	1,966	1	24	0	11	302	8,177	
4	宮城	100	72	766	19	426	156	3,651	81	2,505	2	25	0	31	330	7,504	
5	秋田	195	38	631	13	306	79	2,750	44	1,166	1	15	0	0	175	5,063	
6	山形	76	37	569	19	354	71	3,064	46	1,358	1	3	0	0	174	5,424	
7	福島	340	76	687	26	513	163	6,764	74	1,609	1	35	0	1	340	9,949	
8	茨城	369	70	849	17	565	201	9,691	82	2,146	1	4	0	1	371	13,625	
9	栃木	40	41	757	16	426	126	5,825	51	1,183	0	20	0	18	234	8,269	
10	群馬	127	51	1,058	20	602	156	7,316	52	1,423	1	10	1	24	281	10,560	
11	埼玉	228	220	4,079	32	1,141	370	18,757	132	4,494	0	7	0	165	754	28,871	
12	千葉	547	116	1,983	20	466	342	17,242	116	3,101	1	5	0	6	595	23,350	
13	東京	213	133	2,921	25	449	326	10,750	186	4,316	1	10	0	95	671	18,754	
14	神奈川	535	104	1,189	14	357	359	19,596	128	2,878	0	0	0	5	605	24,560	
15	山梨	22	50	635	15	322	24	437	33	956	0	0	0	12	122	2,384	
16	新潟	207	58	947	22	456	159	5,230	64	1,336	1	9	0	0	304	8,185	
17	長野	171	32	1,497	18	429	121	4,403	70	1,520	1	15	0	10	242	8,045	
18	富山	78	25	381	15	354	62	2,330	28	891	0	0	0	0	130	4,034	
19	石川	26	54	728	20	364	74	3,684	36	948	2	27	1	51	187	5,828	
20	福井	50	35	506	5	141	40	1,509	16	598	1	17	0	5	97	2,826	
21	静岡	526	133	1,602	25	774	316	14,098	81	1,534	1	26	1	11	557	18,571	
22	愛知	249	167	3,088	19	676	359	20,216	145	5,686	0	32	0	34	690	29,981	
23	三重	69	47	703	17	379	155	6,895	47	1,302	1	13	0	11	267	9,372	
24	岐阜	29	61	943	28	613	254	7,232	51	1,858	0	14	0	13	394	10,702	
25	滋賀	74	26	509	12	409	74	1,039	39	1,429	0	0	1	0	152	3,460	
26	京都	95	80	866	16	397	139	5,186	54	1,391	0	0	1	3	290	7,938	
27	大阪	255	102	1,807	15	258	263	8,157	199	3,242	0	1	0	8	579	13,728	
28	兵庫	158	85	1,544	15	241	306	16,556	148	4,836	2	46	0	2	556	23,383	
29	奈良	80	35	912	8	140	64	2,996	28	846	0	0	0	9	135	4,983	
30	和歌山	68	52	717	15	287	104	3,501	31	864	1	34	0	0	203	5,471	
31	鳥取	71	33	424	11	189	36	1,065	24	585	1	23	1	4	106	2,361	
32	島根	63	45	386	12	220	54	1,751	41	871	1	2	0	16	153	3,309	
33	岡山	151	71	690	12	186	136	5,326	66	2,073	1	33	0	0	286	8,459	
34	広島	187	118	1,403	15	314	143	4,968	97	2,769	2	66	0	66	375	9,773	
35	山口	163	72	1,152	8	266	103	4,529	57	1,664	3	80	0	5	243	7,859	
36	徳島	96	25	347	8	119	92	2,082	26	534	1	27	1	13	153	3,218	
37	香川	71	31	407	9	186	51	2,476	30	764	2	9	0	0	123	3,913	
38	愛媛	158	34	591	12	229	133	4,514	66	1,321	1	12	0	2	246	6,827	
39	高知	64	25	337	10	146	43	1,174	23	438	1	0	0	16	102	2,175	
40	福岡	455	73	1,131	20	367	192	6,949	144	2,573	4	57	0	55	433	11,587	
41	佐賀	201	20	416	15	302	76	2,998	39	836	0	0	0	0	150	4,753	
42	長崎	379	52	928	14	289	155	4,979	105	1,988	1	38	0	85	327	8,686	
43	熊本	394	64	913	17	293	148	5,022	61	1,471	2	46	1	21	293	8,160	
44	大分	159	58	638	9	138	101	2,285	24	604	0	35	0	14	192	3,873	
45	宮崎	255	60	639	22	425	153	3,276	39	944	1	33	0	1	275	5,573	
46	鹿児島	142	108	1,251	33	324	202	4,645	82	1,206	2	47	1	3	428	7,618	
47	沖縄	97	43	655	12	181	53	1,389	30	424	0	3	0	18	138	2,767	
48	日本学連	1	0	2	0	0	0	1	0	3	0	9	461	6,906	461	6,922	
49	日本連盟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		8,751	3,230	49,279	797	17,174	7,251	284,478	3,281	82,510	46	1,005	472	7,800	15,077	450,997	
昨年度		7,771	3,228	50,221	779	17,297	7,387	284,886	3,332	81,730	49	918	479	8,076	15,254	450,899	

(平成25年3月31日現在)